



# 池江選手復活と最先端医療

理事長 早川 明

社会福祉法人つるかわ学園  
つるかわ学園を支える会  
☎195-0051  
東京都町田市真光寺町  
186番地  
T E L (042)735-2220  
F A X (042)736-6374  
HP:tsurukawa-gakuen.com

池江璃花子選手は「神様は乗り越えられない試練は与えない、自分乗り越えられない壁はない」と信じて一年余の闘病生活を克服し、二大会連続オリンピック出場を勝ち取りました。五月四日の日本選手権百メートルバタフライ決勝戦を制した池江選手は肩を震わせ涙声で報道陣へ「勝てるのはずっと先のことだと思っていた。すぐくうれしかった。本当にもう言葉にできない」と応じていました。日本の多くの方が池江璃花子選手の快挙へ惜しみない称賛をささげたと思います。

かつては「不治の病」と恐れられた白血病の治療技術の発展は日進月歩で飛躍し、この病を治る可能性の高い病に変え、患者さんへ生きる希望の光を確実に与えられるようになりました。

私事ですが、今年の初夏に四人目の孫が誕生しました。子供たちから妊娠の報告をうけてから、少々気になっていたことがありました。それは、若いお母さんたちの間で広まっている「出産前診断検査をする、しない」という判断です。日本では平成二十五年より胎児にダウン症などがあるかどうかを調べる「新生児出生前診断検査」(妊婦の血液採取検査式で最近は出生前検査と言うようです)が、認定施設九十二カ所で行われるようになってきました。

日本産科婦人科学会は、検査施設の増設を求める声に押され一昨年、認可施設の拡大方針を出しました。「障害のある子を産んで仕事をやめなくなつた時のことを考えて、お金で安心を買つて」「検査の普及は障害に対する理解を広く広める」又「障害を持った子を産むのは良くない」という考えが広まって

いく危険性がある」等それぞれの立場から切実な意見が出されていきました。統計上では、平成二十五年より出産前検査等の結果胎児に染色体異常が確認された場合、一割の方は出産し、九割の方が人工中絶を行っているという数字が残っています。

現代の最先端医療科学技術の進歩は池江選手を始め私たち多くの方の命を救い希望を繋いでくものであり、私たちは驚嘆に耐えないほどの恩恵を享受しています。

コロナ感染症予防の切り札ワクチンの製造方法は幾通りもあるようで、その内の一つmRNA(メッセンジャーRNA)はウイルスの遺伝子情報を使います。短時間で

今まで厚生労働省は「命の選択」に繋がる事柄なので、慎重な姿勢を堅持してきました。ところが、これを改め今年に入りすべての妊婦に対し、出産前検査について情報提供する方針を採ったと報じられました。これにより今後全国の産婦人科医院等を通して「新生児出生前検査」のお知らせ文章が妊婦さんに届けられるように変わっていくのでしょうか。私の子供たちは、「検査を受けてしまうと、異常があるとと言われると考えるから受けたくない。確率の問題だよ」と判断したようです。誕生した赤ちゃんは女の子で、写真の父親の膝の中にボンと納まるほど小さく愛しかったです。

大量製造ができ、かつ変異株対応ワクチンも速やかに製造できる超最先端科学技術だそうです。これからの人々は感染症に苦しめられることから徐々に解放されるようです。

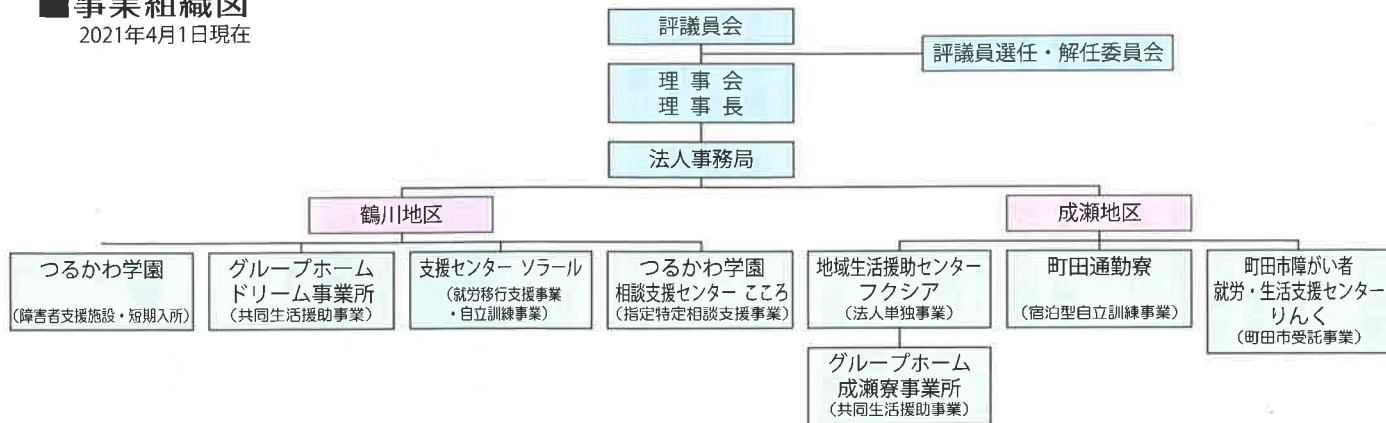
しかしながら既述のように、親に望まれて誕生した命は、瞬時に産むか産まないかの命の選別に晒され、その判断を親自身がしなければならぬようにも迫っています。なんと残酷なことを超最先端科学技術は私たちに強いるのでしょうか。

人類の誕生はアフリカ大陸で七百万年前、仏様、キリストの誕生は約二千五百年前。自然界や社会制度の厳しすぎる生存競争の環境下で、人間は「命の選択」を神に委ねて希望と諦念を得ることによる、繁栄できたのではないのでしょうか。私たちは「命の選択」を返してもらえるほどに神を超えたのでしょうか。未来の若者たちは「命の選択」と引き換えに、何を失っていくのでしょうか。

「悲観することはない、私たちは昔より豊かに幸せになつていく。これからも同じようになっていく」という古人の言葉を思い出しつつ沈黙考します。

皆様のお手元に広報誌が届く頃に、東京オリンピックパラリンピックの成否も判明しています。平穏な日常が戻るように一日も早い集団免疫力の獲得を願うばかりです。

■事業組織図  
2021年4月1日現在



【役員等】 任期の満了に伴い新たな役員等が選任されました。(順不同・敬称略)

●評議員

大久保悦子、大高 弘之、岡本 明博  
春日 俊介、佐々木徹也、田中 公彦  
(以上再任)  
安田 喜人 (新任)

●理事

植村 義秀、大矢 浩之、三階 広明  
月岡 亮、丸山 文弘  
(以上再任)

●監事

高橋 健司、豊田 泰三  
(以上再任)

●理事長

早川 明

【実施事業】

●障害者支援施設つるかわ学園

- ①施設入所支援：定員45名
- ②生活介護：定員60名
- ③短期入所事業：定員 4 名
- (1) 事業開始年月日：平成22年4月1日
- (2) 管理者 月岡 亮

●町田通勤寮 (宿泊型自立訓練事業) 定員30名

- (1) 事業開始年月日：平成7年4月1日
- (2) 管理者 三階 広明

●グループホーム (共同生活援助事業)

- ①鶴川地区：定員15名 (2 住居)
- ②成瀬地区：定員77名 (15住居)
- (1) 事業開始年月日
  - ①平成20年10月1日
  - ②平成9年10月1日
- (2) 管理者
  - ①外川 珠枝 (鶴川地区)
  - ②大矢 浩之 (成瀬地区)

●町田市障がい者就労・生活支援センターりんく

- (区市町村就労支援事業)
- (1) 事業開始年月日：平成21年4月1日
- (2) 管理者 藤本 英理子

●社会福祉法人つるかわ学園

- 地域生活援助センターフクシア (法人単独事業)
- (1) 事業開始年月日：平成20年5月1日
- (2) 管理者 大矢 浩之

●支援センター ソラール

- (就労移行支援事業・自立訓練事業)
- ①就労移行支援事業：定員 6 名
- ②自立訓練事業：定員14名
- (1) 事業開始年月日：平成21年11月1日  
(多機能型事業所として開設)
- (2) 管理者 藤本 英理子

●つるかわ学園相談支援センター ころろ

- (指定特定相談支援事業)
- (1) 事業開始年月日：平成26年6月1日
- (2) 管理者 芹澤 政人



各事業所より

【つるかわ学園】

ふれあい祭り2021

中止のお知らせ

男性主任 大熊 祐二

「コロナウイルスとの闘いが始まって一年半ほどが経過しました。昨年中止といたしました。毎年十一月に実施している「ふれあい祭り」についてですが、今年につきましても社会情勢に鑑みまして中止とすることといたしました。

感染者数の推移や変異株の流行などもあり、例年のように利用者、職員、ご家族、地域の皆様とのふれあいの機会として開催することが困難であるとの決断に至りました。何卒ご理解の程宜しくお願いいたします。ワクチン接種や治療薬の開発等が進み、安心して皆様とお会いできる日が一日も早く訪れることを心から願っております。

「コロナ禍」という言葉がすっかり定着して久しいですが、学園では三密を避けるなどの基本的な感染症対策を徹底しながら、日々の活動や行事を通して利用者の皆様に少しでも楽しんでもらえるよう支援しています。散歩に出かける際は、人の少ない時間や場所を選び、利用者の皆様の運動機会確保とリフレッシュを目的として取り組んでいます。

レクの日や夏祭りなどの行事についても、密を避けるため若干規模を縮小しながら実施しました。旅行や外出、外食は感染リスクが高い為、デリバリーで普段とは違う食事を注文しての昼食会を実施するなど、制限の多い生活をお願いしている利用者の皆様が笑顔になれるような企画を、これからも実施していきたいと考えています。

【つるかわ学園】

相談支援センター【こころ】

「コロナ禍において」

相談支援専門員として

求められる柔軟性

管理者 芹澤 政人

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、計画相談は、現在も継続して柔軟な対応をしております。(計画のモニタリング【実施状況の把握】は、電話連絡等により本人や家族へ確認し記録化する等)。それまでは、表情やその場の雰囲気を感じながら行っていた面談からすると、戸惑いもありましたが、改めて相談支援専門員としての役割を見つめることもできました。それは「より繋がること」「柔軟性」です。「コロナ禍における柔軟な対応の他、柔軟な発想から支援のアイデアを考へ出すことや相談支援専門員の役割、意義を柔軟に変えていくことも求められると感

【ドリム】

「虐待防止・権利擁護」

オンライン研修を受講して

ドリム事業所 峰村 直美

今後も社会情勢を見ながらの支援の調整が求められますが、「より柔軟に」「より繋がること」ができるように相談支援体制をつくっていききたいと考えています。

「コロナ禍ではありますが、月二回程度、利用者さんの希望の中華や寿司等の食事をテイクアウトし、美味しく楽しく過ごしています。

先日の研修から、改めて多くの事を考えさせられました。その人がその人らしい生活を送れるよう、障害特性を理解し、社会参加や暮らしの中の「選択と決定」が出来るよう、利用者の権利を守るという自覚に基づき支援を行う事。小さな出来事でも気に留め、記録、振り返り、自身の支援の見直しを行い、常に上司、同僚へ報・連・相を意識し、風通しの良い職場や環境づくりが必要で虐待防止につながると学びました。

グループホーム「ラピス」  
十月開設

管理者 外川 珠枝

この「会報つるかわ」が皆様のお手元に届く頃には完成し、必要とされる検査を通過して引越に向けて準備を始めている頃だと思えます。

梅の花が香る時期に地鎮祭を終え、桜満開で新年度迎え、工事は着々と進んできました。更地から土台、上棟、足場が生まれ、シートが張られ、みるみる完成して行きました。利用者さんも、カーテンの色や居室のレイアウトなど考え、胸躍らせ完成を待ち望んでいました。雨の日も、風の日も、暑い日も、地域の皆様のご理解、工事関係者の皆様ありがとうございました。



# 永年勤続職員紹介

以下の職員が、法人の規定により、勤続十年の永年勤続表彰を受けました。

## ●障害者支援施設つるかわ学園

北野総一郎・田中 良典  
鈴木 友和・安部 直毅  
小俣 文子・野木 圭子

## ●町田通勤寮

川瀬 朝日

## ●グループホーム

平田まち子

法人の十年表彰を受けて  
パン工房もくもくてん

野木 圭子



私がつるかわ学園の門を初めてくぐったのは、もくもくてんのパート募集のチラシを新聞広告の中に見つけ、面接を受けに訪問した時でした。とてもアットホームで気さくに接してくださる職員の皆様のおかげで、パンの仕事にも職場の雰囲気にも

慣れてきたころに、何人かの利用者の方々がもくもくてんの活動に参加するようになりました。最初こそとまどいがありました。利用者さんの方から笑顔で近づいて来てくれました。そんな利用者さんたちとともに歩んできた十一年、変わらぬ心掛けできたことは、お客様に気持ちよく買い物をしていただき、笑顔でお帰りいただくことです。皆様、ぜひもくもくてんに足をお運びください。お待ちしております。

勤続十年を迎えて

町田通勤寮

川瀬 朝日



つるかわ学園に入職して十年が過ぎました。気付けば三十代も半ばになり、身体や肌の質感が少しずつ変わってきている事を実感する今日この頃です。(割と運動はする方ですが、ちょっとムリした後の回復力の低下を一番感じます…)

今考えると、約十年前、当時私はスタートの時点で、これから社会人として何十年も働き続けなければならぬのか…というところに絶望感を感じており、かなりやる気も覇気もない若者だったと思います。当時の先輩を初め、多くの方が支えて下さったお陰で今を迎えられています。今、自立すること・働くことについて町田通勤寮で支援させて頂いている事はとても不思議な事だなぁと思っていました。何となく目を背けてやり過ごしてきたことは、いずれまた何らかの形で向かい合わなくてはならないものとして訪れるのかなと考えさせられる日々です。

これから先も、現在のコロナ禍のようにきつと予想もしないことが起きるでしょうが、変化を受け入れつつ、できる限り楽しみつつやっていけたらいいなと考えています。

## つるかわ学園を支える会のご案内

「支える会」について

国家的財政困難と世情不安定の中にあつて、施設も苦しい状況に置かれています。私達は私達なりに苦しさの中にあつても福祉を支える者として努力を惜しまず頑張っています。今一步の力の支えをこつとした形で求めるのは本当に心苦しいのですが、市民の皆様の小さな善意はやがて大きな力を生む礎となる事をお約束します。どうか「つるかわ学園」を支える会にご入会し力を添えてくださいますようお願い申し上げます。

### 会費

「つるかわ学園を支える会」の会費は、一口年額三千元ですが、ひとり何口か入っていたら、ことを歓迎、お願いしております。

会員の方々には、毎年三回発行するつるかわ学園の機関誌「つるかわ」をお送りし、学園の様子を続けてご報告するとともに、この人達の幸せを願う者同志としての親交を深めます。

### 入会方法

入会してくださる方は、振込用紙を学園にご請求下さい。

### 振替口座番号

〇〇一〇一七七一九四〇二九  
加入者  
社会福祉法人 つるかわ学園

### つるかわ学園ホームページ

日常のようす、行事のお知らせ等がご覧になれます

アドレスはこちら!!  
HP: [tsurukawa-gakuen.com](http://tsurukawa-gakuen.com)

